



尾形英明議員

災害復旧

漁港、海岸施設等の被害状況は

12月頃査定を受ける

質問

水産業の早期復活が町復興の大前提だと思う。そのためには、一日も早い漁港施設等の整備が必要である。漁港や海岸施設の被害状況の程度と被害額を示せ。

また、残存施設を考慮したかたちで災害査定をいつごろ受けるか問う。

沼崎町長 被害の状況は、

織笠漁港が防波堤の損壊と漁港全体の地盤沈下、小谷鳥漁港については防波堤、物揚げ場、船揚げ場の損壊と用地の流失、さらに地盤沈下し、両港とも甚大な被害となっている。

被害額は、織笠漁港が海岸保全施設を含めて19億2000万円、小谷鳥漁港が16億6000万円で国・県

災害復旧

がれきの撤去と再利用方法は

県の指導を得ながら検討

に報告している。

また、災害査定については、残存施設や地盤の沈下

を考慮したかたちで、11月中旬、12月上旬に実施する予定である。

質問 がれきの撤去で家の基礎等、コンクリート部分が撤去されていないのはなぜか。

また、崩壊したブロックや倒れた防波堤等を漁礁ブロックや捨て石、路盤材等として再利用できないのか問う。なお、その処理をどのような会社にとどのような条件（地元の漁師を作業員として雇用することなど）を付けて発注するのか併せて問う。

沼崎町長 家の基礎などのコンクリート構造物の撤去については、撤去前に土地の境界確認を行うことが必

要であり、現在この作業をどのようにして行うか検討している段階で、決まり次第作業を進めたいと考えている。

再利用については、すでに県営漁港で取り組んでいるので、県の指導を得ながら検討する。

処理については、町と県との間で廃棄物の処理に関する事務委託を締結し、県が処理することとなっているため町では発注しないが、県からの情報では10月中旬に受注予定者を決定し、11月中には契約する予定とのことである。



甚大な被害の小谷鳥漁港

議員8人が一般質問